

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

感謝

やんばるの子ども達へ よっしゃあ金城さん、マスク寄贈



5月7日（木）、村の夏まつりなどの司会を務めてくれているよっしゃあ金城さんが大宜味小・中学校を訪れ、マスクを寄贈しました。

大宜味村をはじめ国頭村や東村でもお馴染みのよっしゃあ金城さん。県北部地域ではなかなかマスクを手に入れることができないことを知り、東京の友だちからマスクを取り寄せて子どもたちへと寄贈してくれました。

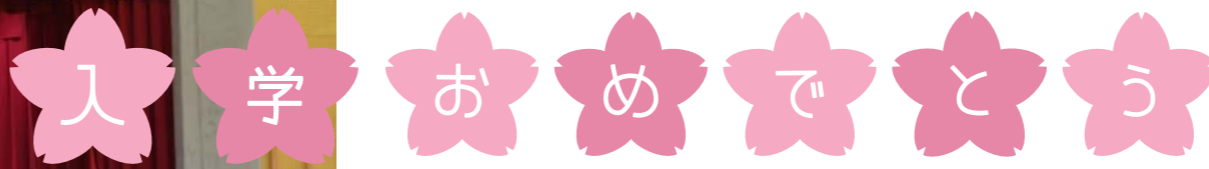
マスクを受け取り、小学校校長の新垣郁代先生と中学校校長の具志堅仁一先生は「学校には十分なマスクがなく、キッチンペーパーで代用品を用意しているところだった。このようなしっかりしたマスクをいただけてとても嬉しい。子ども達にも金城さんの温かい思いを伝え、コロナウイルス感染拡大防止につとめたい。ありがとうございます」と喜びました。

また辺土名高校 60 期生金城さんは母校へも出向き、後輩たちにマスクを寄贈。小学生から高校生まで村の子ども達に心温まる贈り物をしてくれました。



その日のうちに母校にも…

大宜味小学校入学式



大宜味中学校入学式



5月7日（木）、令和2年度大宜味中学校入学式が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1ヶ月遅れ、規模も縮小しての入学式となりましたが、真新しい制服で堂々と入場した1年生たちを保護者や先生方、代表の在校生



新入生代表：奈良樹くん 生徒代表：安里満帆さん

たちも喜んで迎えました。

新入生を代表し、奈良樹くんは「新しい制服に背筋が伸びる気持ち。僕達1年生は誰にでも挨拶をし、勉強も運動も一致団結して頑張る。一人一人が自分で考え行動し仲間と支え合っていきたい」と決意を述べました。

生徒会長の安里満帆さんは「今年の生徒会のスローガンには『進取果敢』という言葉をおいている。言葉の通り行事や部活に積極的に取り組み楽しんでほしい。中学校では自分の目標や夢をもって。慣れないこともあると思うけど、私たち在校生がサポートするので安心してください」と新入生を歓迎しました。

- | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|---------|-------|-------|------|
| 上地優空 | 平良梨央那 | 高橋直己 | 稲福花 | ▽植田マリーナ | 平良颯 | 宮城莉緒菜 | 大城ゆず |
| 新城琉空 | 宮城結徳 | 大城莉珠 | 神里彩実 | 宮城笠夢 | 宮城莉杏奈 | 金城宙矢 | 宮里歩侍 |
| 比嘉祐士 | 上地琴子 | 金城咲那 | 濱元朱莉 | 田村将大 | 當山翔愛 | 小谷穂一 | 奥原來優 |
| 新垣温大 | 三浦多麻 | | | | | | |
- 聞き上手さんたち♪ 男子13名 女子13名 計26名



しっかりお返事

5月8日（金）、令和2年度大宜味小学校入学式が行われました。

いつもとは違い、在校生もいないなかでの入学式とはなりましたが、新1年生たちは緊張しながらも堂々と舞台から登場し、みんなの前を颯爽と歩いて入場しました。式の間も席にしっかり座り、お話も静かに聞くことができました。

新垣郁代校長先生は「今日からみんなは大宜味小の仲間です。大宜味小では早寝早起きをして、朝ごはんをしっかり食べ大きなあいさつができる『元気な子』、何をやる時が良く考えて自分で行動できる『考える子』、困っている人に優しく声をかけられる『助け合う子』を目指してください。これから6年間、1日1日を大切に力を合わせて頑張りましょう！」とあいさつしました。

児童代表：藤田大洋くん 優しく声をかけられる『助け合う子』を目指してください。これから6年間、1日1日を大切に力を合わせて頑張りましょう！」とあいさつしました。

児童を代表して6年生の藤田大洋さんは「大宜味小には広い運動場や体育館があり、のびのびと運動もでき、今年から学校の裏には遊具もできたのでみんなと一緒に遊ぶのが楽しみです。小学校の校歌は僕のお父さんが作詞した歌です。1年生も早く覚えて大きな声で歌ってほしいです。困ったことがあったら、いつでも僕達上級生に声を掛けてください。一緒に小学校生活を楽しもう」と歓迎しました。



- | | | | | | | | |
|------|-------|----------|-------|-------|-------|------|------|
| 山上幸帆 | 小生葉依音 | ▽植田マリーナ | 山川智瀬 | 前田琉夏 | 宮城泰斗 | 平良妃彩 | 大城璃來 |
| 平良梨杏 | 根森寿実 | 奈良樹 | 山本紋伶里 | 砂川凜 | 我那覇藍貴 | 宮城緩奈 | 幸山太輝 |
| 島袋晃匠 | 名嘉歩生 | 金城妃佑 | 照屋綾音 | 高江洲奈緒 | 仲原琉愛 | 新垣希美 | 宮城藤悟 |
| 上原正遥 | 廣河舞蓮 | 森田海斗（転入） | | | | | |
- 男子11名 女子16名 計27名

～教育委員だより～

大宜味村教育委員会では毎月第4木曜日に教育委員会議を行い、教育に関する方針の決定、教育委員会規則の制定やその他重要な事項の決定を行っています。ただし、緊急の場合は臨時会を招集して審議を行います。

教育委員だよりでは、会議で決定した事項をお知らせして参ります。



左から山上晶子さん（田嘉里）、島袋きよみさん（大兼久）
山本昌一さん（塩屋）、山城豊さん（津波）

4月30日（木）※コロナウイルスのため1週間遅れて開催

＜審議事項＞

議案第19号 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策について

大宜味小学校・中学校の休業及び再開についての審議

1. 2週間程度（5月20日まで）分散して登校日とする（午前中2時間程度）
2. 5月7日小学校入学式・5月8日中学校入学式を規模縮小して開催する。

※小学校・中学校の校長及び教頭も出席し決定

議案第20号 大宜味村教育委員会の点検・評価委員の委嘱について

平良隆志（元学校長）・島田哲夫（元教育委員会職員）・島袋経子（元教育委員会職員）

任期は令和2年5月1日から2カ年間

議案第21号 大宜味村立おおぎみこども園公印規程

令和2年4月1日おおぎみこども園が開園したことに伴い、公印規程を制定する。

図書室情報

No.10 2020年（令和2年）6月

大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内）
大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

●利用状況累計

- 来室者数…のべ416人
- 貸出冊数…746冊
- 登録者数…59人

5月の統計（5/25まで）
○来室者数…のべ89人
○貸出冊数…255冊

★現在の蔵書数…4497冊＋県立図書館の本500冊

6月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

6・23 慰霊の日を考える



寄贈図書



※来室の際は、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。

感謝 大宜味っ子たちの守り神に いぎみていぐま会こども園に面シーサー寄贈



今年4月に開園したおおぎみこども園。その玄関に子どもたちを見守るシーサーがいます。どこか愛嬌のあるこのシーサーはいぎみていぐま会から寄贈されたものです。

いぎみていぐま会では毎年行われているいぎみていぐま（今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）チャリティーオークションの売上金を活用し、これまで小・中学校への本の寄贈やぶながやっ子へ寄付金の贈呈などを行っています。大宜味村の子ども達の役に立つものと考え、今年は4月に開園したこども園に村で陶芸を行っている大海陽一さんが大保の登り窯で焼いた面シーサーを寄贈。

宮城政信園長先生始めこども園の先生方も「普通のシーサーと比べてとても優しく可愛い顔をしており、こども園に相応しいシーサー。みんなとても喜んで」と話してくれました。

建物の門や屋根に据え付けられ、家や人、村に災厄をもたらす悪霊を追い払う魔除けの意味をもつシーサー。こども園の安全を守るとともに子ども達の健やかな成長を優しく見守ってくれることと思います。

おいしいゼリーにきらきら笑顔♪ ケレス沖縄、こども園にタンカンゼリー贈呈

5月1日（金）、株式会社ケレス沖縄工場長の前田哲男さまより、おおぎみこども園におよそ200個のタンカンゼリー（ぷるぷる果汁ジュレ タンカン）の贈呈があり、連休明けの7日（木）、こどもたちのおやつで出されました。

凍った状態でいただいたものを自然解凍して提供したためとろとろ食感のゼリーの中にシャーベット状の部分が残っており、子どもたちはそれを「ゼリーの中の宝石♪」とって愛おしそう



に食べていたようです。

いつもはなかなか食が進まない子もぱくぱくと食べ、みんなでおいしいゼリーを味わうことができました。ケレスのみなさん、ありがとうございます!!



新連載がスタートします!!

今回から、仲吉朝助著『杣山制度論』（1904年）を、皆様と一緒に読み解いて行こうと思います。

琉球国の時代、土地は全て王府のもので、王府監督のもとに地元間切が保護・育成し王府の需要を満たすと共に、地元民の生活に必要な産物などを利用することが許された官有林が杣山です。山深い山原の生活において、我々の祖先は日々の糧を得るため、杣山とは切っても切れない密接な関わりを持っていたことは想像に難くありません。

『杣山制度論』は、1899（明治32）年から1903（明治36）年にかけて行われた沖縄県土地整理事業において、旧制度に精通した第一人者として明晰な頭脳を以て土地整理事務局の書記を務めた仲吉朝助の手で、土地整理終了後の1904（明治37）年に発表された貴重な史料です。

その内容は、琉球藩の令達及び慣例を基に、蔡温の杣山政策を網羅した『林政八書』や各間切役場保管の藩制時代の書類、国頭、中頭、久米島及び宮古郡での実地調査などを踏まえ、杣山の由来、監督、保護、慣例、罰則などが詳しく述べられている。

本連載においては、各回ごとに通し番号と見出しをつけ、格調高い文章の味わいを損なわないように配慮しつつも、旧漢字・仮名遣いは現代づかいに改めると共に、理解の一助として、難解な漢字にはルビをふり、適宜（※…）のように補足や説明を加え、必要に応じて句読点や「」などを追加しました。



『杣山制度論』を読む 1

第一章 総論

杣山とは沖縄県下、中頭郡の七間切、（間切とは最下級の行政区域にして他府県の町村に相当するものなり）国頭郡の九間切、島尻郡の久米島、伊平屋島、慶良間島並びに宮古郡、八重山郡に在りて、其の地盤は旧藩時代に在りては藩有、置県後に至りて慣例に基き官有として取扱う所の森林、原野をいう。

換言すれば、明治32年法律第59号沖縄県土地整理法第18条に規定されたる官有地の一種にして従来森林法、国有林野法其の他一般官有、国有の土地に関する法令の支配以外に特立せる林野なり。

備考

沖縄県土地整理法第18条 杣山、川床、堤防敷、及其余地其他民有と認むべき事実なきものは総て官有とす。

杣山の保護管理に関しては勅令（天皇が発する命令）を以て規定するものの外、従来の慣行に依る。前記各地に存在する杣山の面積は、未だ精密の測量を経ざるを以て確実なる数字を以て頭すこと能わざるも、元文乃至（ないし）寛延の間（清の乾隆年間）に琉球藩が施行したる境界検査の書類に依れば大凡次の如し。

中頭郡	西原51町6反 中城47.2 読谷山729.5 北谷405.7 具志川346.2 美里933.9 越来558.9 計3,083.2 ※中頭郡の杣山より1,399.4反歩の開墾を許可せり
国頭郡	久志10,668.4 大宜味4,200.9 金武3,831.7 国頭14,465.6 羽地3,130.8 恩納2,257.9 名護3,359.8 本部1,607.1 今帰仁1,002.4 計44,524.9 ※国頭郡の杣山より3,700.1反歩の開墾を許可し其の中1,969.7反歩の成功せり
島尻郡	久米島具志川426.7 同仲里1,164.7 慶良間40.0 伊平屋395.3 計2,026.6
宮古郡	三間切ト一島 計3,372.6
八重山郡	三間切ト一島 計42,197.3
	総計 95,204.6



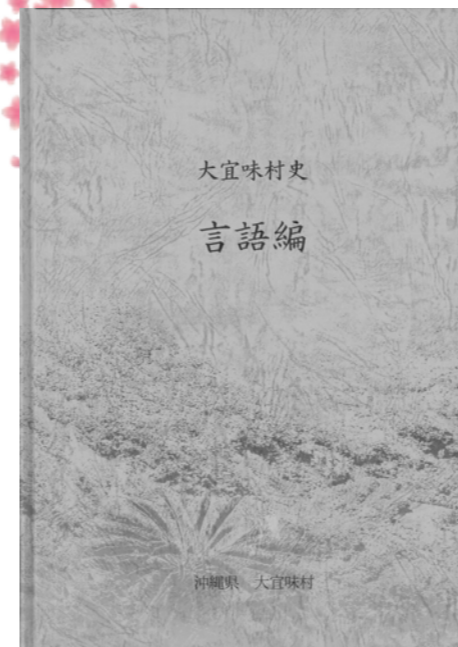
仲吉朝助（なかよしちょうじょ）
1867-1926年 県庁吏員、政治家、実業家、研究者など経歴多彩。土地制度と産業振興の研究をライフワークとし『沖縄県糖業論』『八重山島農業論』『沖縄県下糖業と農業経済』『琉球の地割制度』等の優れた著書を遺す



村史編さんだより

第110号 2020年6月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

大宜味村史『言語編』が完成しました!



昔は各集落ごとに明らかな違いがみられた方言も、生活スタイルの変化やメディア発展の波にのまれ、地域ごとの特徴も薄れつつある昨今、“時代とともに変化あるいは消滅しつつある大宜味村の方言を記録し継承していく”という目的で『言語編』は計画されました。

長年言語学を研究してられる新里幸昭氏が専門部会長を引き受けて下さり、編さん作業においては、ご多忙な中、執筆・監修・資料提供など力強く事務局を引っ張って下さいました。研究者としての確固たる信念から発せられる厳しい指摘や叱咤激励に事務局も大変鍛えられました。何度も何度も議論を重ね、教えを乞い、やっと形になった一冊です。

本書の核となる「各集落方言一覧表」調査においては、各区長をはじめ村内外多くの方々にご協力をいただきました。日頃から物心両面の支えとなっている仲原弘哲氏には、歴史文化の面からみた各集落方言について執筆をいただきました。沖縄言語研究センターからは1980年代の貴重な調査資料を提供していただきました。

本当に多くの方々のお力添えに対し、心から感謝申し上げます。

『大宜味村史 言語編』各章の構成

村史編さん係（大宜味村図書室）で販売（1冊3,000円）および閲覧ができます

第1章 生活の中に息づく方言

近世から現代までの村内17のシマ（集落）のあゆみを紹介するとともに、それぞれのシマの歴史や文化の違いから来ることばの特徴や違いまたは同一性を読み解こうと試み、その要因を探っている。

第2章 大宜味村の方言

これまでに行われた村の方言研究のあゆみを辿り、資料の解説を行うとともに、中・南部または首里・那覇の方言や、山原方言全体との比較や村内各字（地域）同士の比較を試みながら、方言の特色を概観できるようにした。また「大宜味村各集落（シマ）の方言一覧表」を元に、音韻の特徴に着目して分布図を作成した。それらの特徴を明らかにし、地図上に分布の様子を落とし込むことにより、各シマジマをかたち作ってきた要素（古層の村か、屋取村か、シマンチュ気質、祭祀行事への関わり方等）が見えてくるものと思う。

第3章 大宜味村各集落（シマ）の方言一覧表

『喜如嘉誌』（1996年発刊）の中で専門的に纏められている「第5章6節 喜如嘉の方言」に記述されている約1200語より927語彙を抜粋し、字の協力のもと村内16字（江洲以外）で方言調査を行い、一覧表にまとめた。

第4章 資料編

・琉大方言研究クラブにより発行されている機関誌『琉球方言』第4号～第7号（1962年～1966年）、1979年から1988年にかけて実施された沖縄県言語県言語研究センターによる『琉球列島の言語の研究』と、名護市史編さん委員会による1982年の調査『名護・やんばる地域の言語の研究』より大宜味村の調査資料を掲載している。

・『おおぎみの昔話』、『書いて残そう島々の言葉』、『島クトゥバで語る戦世』、『喜如嘉（キズカ・キザハ）語（ムニ・グチ）集』より全30話を抜粋した。

※先月の村史編さんだよりに誤りがありました。 誤）端慶山さん→正）瑞慶山さん 訂正してお詫びいたします。



「しまふとうば」ぬくとう 53



リュウキュウツバメ、インソヨドリ、メジロ、キジバト等身近な小鳥たちが近くの木や建物に営巣して子育てを終え、ヒナたちが巣立っていった。

同じ頃の5月21日から小・中学校の登校も始まった。新型コロナウイルスの影響で世界的に「ホームステイ」状況にあったため、2ヶ月近く遅れての授業再開である。同時に校門では村長、教育長、小・中両校長、名護警察署の塩屋・喜如嘉両駐在、教育委員会指導主事等が登校してくる児童・生徒へのあいさつ運動を再開されたが、全員がマスクをしているため、こども達の顔・表情が分かりづらい。マスク顔の前は登校してくる児童・生徒の顔や行動に色々な表情があった。明るい顔、眠たそうな顔、うつむき加減な顔、ポーカークフェイス等。行動面においても元気の有る、無し、普通等。声も大、小、普通。あいさつ時に相手の眼を見る、見ない、どちらでもない。等々、朝の校門でこども達は実に様々な表情を見せてくれる。校門は毎朝同じような光景であるが、毎朝違う情景があって楽しい。

あいさつ運動をしながら、こども視線を考えてみた。児童・生徒は校門であいさつする大人たちをどのように観ているのだろうか。小学校、中学校の校長は自分の学校の「校長先生」で解りやすい。村長も大宜味村のトップの「村長さん」で解りやすい。名護署の塩屋・喜如嘉の駐在も「おまわりさん」で解りやすい。教育長はどうだろうと思った時に思考停止した。入学式や卒業式等、時々学校に来てあいさつをする教育長という人は何者だろうと思っているのではないか、教育長という職名はこども達にとって理解しづらいのではないか？ましてや「指導主事」は大人でも理解しがたいので尚更のことだと思ふ・・・？

そして校門には大人が6、7名もいるので律儀な子は一人一人に対して6、7回もお辞儀をしてあいさつする。大変だなーとも思ったりする。

人の行動は新型コロナウイルスの影響でこれまでの当たり前が、当たり前でなくなっているが、こども達のためにも新型コロナウイルスが一刻も早く終焉し、マスクのないこれまでの校門の風景に戻ることを願う。

“あい うぬわらびや うみきち にーぶいじらすいしが ゆびやにっかまでい うきているういたがやー”

今月の生きもの



ヤマモモ：ヤマモモ科

2020年 ウミガメ情報

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出予想日数	脱出予想月日	種類
1	津波ガタ	4月26日	産卵無し		アカ
2	根路銘	4月26日	70±5	7月5日	アカ
3	喜如嘉	5月18日	63±4	7月20日	アカ
4	饒波	5月23日	産卵無し		アカ
5	大宜味	5月23日	62±4	7月24日	アカ
6	根路銘	5月26日	62±4	7月27日	アカ

おはようございます。ヤマモモです。ヤマムムと言った方が馴染みがあるかしら？赤くみずみずしいこの実は甘酸っぱく、(昔の)子ども達のおやつに、そして森の仲間たちの食糧となり、人から野生動物までたくさんの生きものを魅了しています。私たちの中にも様々な個性があり、種が大きく実が固い「イシムム(石桃)」や、ジューシーな「ミジムム(水桃)」など特徴を踏まえた呼び方がされています。

できればミジモモに出会いたいよね～。

1日(月) 区長会

9日(火) 平和を考える旬間 ～ 30日(小)

17日(水) 小・中授業参観 ～ 19日

19日(金) 少年を守る日

20日(土) おきなわ地域教育の日

21日(日) 家庭の日・ファミリー読書 父の日

22日(月) 学校計画訪問(中)

6月22日



ボウリングの日

6月の行事予定

23日(火) 慰霊の日

24日(水) 学校計画訪問(小)

25日(木) 学校計画訪問(園・給セ)

定例教育委員会議

28日(日) 国頭郡サッカー大会

29日(月) 夢語るウィーク ～ 7/3(小)

例年より2日遅く沖縄も梅雨入りしました。どんよりした空模様ですが、やんばるの生きものたちは変わらず元気です。ノグチゲラは以前より里に下りてきているようで、庭から鳴き声やドラミングが聞こえてきます。やっぱりいい所だな・・・。